

# 大館圏域産業祭

# 地域の活力を未来へ

10月26、27日  
ドーム 実行委が計画決める

大館圏域産業祭実行委員会（委員長・大森泰彦大館市産業部長）は19日、市役所で本年度の初会を開き、10月26、27の2日間、ニプロハチ公ドームで開催する日程を決めた。「地域の活力を未来へ」を

コンセプトに、商工展、農業展、教育産業展、スポーツイベントを行い、タクミアリーナで他団体が主催する子ども向けのイベントが開かれ、相乗効果で集客を目指す。

## 同時に子どもイベント

産業祭は市や大館商工会議所などつくる運営委員会主催。運営委の開催方針を踏まえ、実行委が26回目を迎える本年度の事業計画を決めた。商工展では展示、物販、飲食、フリーマーケット部門が

開催時間は26日が午前9時30分から午後4時まで。27日は午後3時まで。出店者の準備のため、開会を前日より30分遅らせた。来場者に回避してもらうため、会場内にクイズを配置するなど工夫する。これまでチラシはあったが、初めてポスターを制作し、周知に努めていく。

秋田看護福祉大学、圏域内中学校・高校の展示販売が予定されている。スポーツイベントも行われる。

象にさまざまな仕事を体験できる。県主催のデジタル未来ふれあいフェスタ2024は、主に中高生が対象で、VR（仮想現実）やAR（拡張現実）などデジタル技術の体験が行われる。

大森委員長は「産業祭は地域の取り組みを広く発信し、産業の発展につながるものだが、特に未来を担う子どもたちにより伝えられる内容にできればと考えている」と述べた。

前年度は10月21、22日に開催し、2日間で1万9000人が来場した。

大館圏域産業祭の実行委員会（大館市役所）

